

Vol.06 建設女子の 本音!

土木技術者女性の会
サポーター



株式会社アイサスは土木技術者女性の会サポーターとして、土木の事業に携わる土木系女子「ドボジョ」を応援しています。前回に引き続き安達建設株式会社様より女性技術者の方にお話を伺います!



工事部
土木課
吳 智恵様



好きな物: お菓子・旅行
休日の過ごし方: 公園・動物園・水族館へ子どもと出かけること



子育てと業務の両立

安達建設に入社して25年になります。最近は主に現場で作業や施工管理をする人の書類のサポート・積算業務をしています。

入社して初めて担当した仕事は林道の開設工事で、現場に着いた瞬間に道がなくなり崖のような壁があって「どっから上がるんやろ」となったことを覚えています。道なき道を切り開き毎日測量の日々でしたが、測量後は重機が搬入され気が付くと道ができていました。

一つの現場が完成すると達成感があり、当たり前前の「モノ」を作ること誰かの役に立って、誰かの役に立つかもしれない、ということは魅力的でやりがいに繋がっています。

現場で働いていて女性で有利だと感じたことは声がよく通ることです。「そこじゃな〜い!」と現場内で中井さんと二人で叫びすぎてうるさいと言われたこともあります(笑)

会社の制度で言うと、就学前の子どもがいるので**子どもの看護休暇が取得できることは気持ち良くなるし助かっています**。上司の理解があるので取得しやすく、**最近は男性社員も気軽に看護休暇が取得できていますね**。

最初から完璧にできる人はほとんどいないので、とりあえず挑戦してほしいです。現場だけの作業ではなく室内での図面作成や書類整理などの業務もあるため、**男性女性問わず自分に合った働き方を見つけれられる業界**だと思います。

スキルアップの実感

吳さんと同期で入社して25年を迎え、現在は現場代理人として現場の墨出し作業から工程管理など一通りを行っています。

建具屋さんをしていた祖父を小さい頃から見ていて、建設業が身近にあるところで建築や建具屋さんを良いなと思いながら育ちました。高校の頃に自宅の増築があり、大工さんと話したことがきっかけで建築の道に進みました。

現場は前提条件、規模などが違い同じものが何一つないため一人前になる変化がわかりにくいです。私の場合、入社後は先輩のお手伝いで民間の工事を多く経験し、資格を取得した後8、9年目あたりから現場を一人で任されるようになりました。

小柄なので作業服が合わないことがほとんどですが、袖口を折り曲げてボタンでとめたり、ベルトでウエストを締めたりして対策しています。ヘルメットを被ると髪が押し付けられてもじゃもじゃになってしまうので髪を縛れるギリギリの長さでそろえています。

仕事をしていく中でお客さんや業者さんなどの**たくさんの人と話をする分、若い頃よりも今の方がいろんな考え方の人がいることがわかるようになりました**。お互いに良いものを作ろうとする中で意見の相違はありますが、ぶつかり合わないために調整することができるようになってきたことが楽しいと感じます。**皆でつくり上げた建物や橋を大事に使ってくれたら一番嬉しいですね**。

工事部
建築課
中井 由香理様



習慣になっている事: お茶のお稽古
休日の過ごし方: のんびり過ごす



安達建設株式会社

1897年創業の富山県南砺市に所在する総合建設業者です。「良い人 良い仕事 より安全に」という長期スローガンのもと女性技術者の積極的な採用や福利厚生、SNSでの情報発信など様々な取り組みに長年力を注いでいます。

会社HP



富山県けんせつラボ



instagram



※富山県の建設会社や建設業の仕事に関する学生向けのサイト